

JAGU

業界初 フロントガラス保険

純正ガラス市場へ回帰

日本自動車ガラス販売施工事業協同組合（JAGU）、蝦名久志理事長は組合員に大きなメリットをもたらす「フロントガラス破損補償保険」をブロードマインド少額短期保険（東京都品川区、五十嵐正明社長）と共同開発し、09年8月から販売を開始。自動車ガラス補修業界に大きな影響を与えそうだ。



組合員にメリット

「フロントガラス破損補償保険」は車種によって保険料は異なるが、普通乗用車で年間約5000円払っただけで、1年間に1回、フロントガラスの交換費用を全額負担してもらえありがたい保険だ。

自動車のフロントガラス破損に特化した「フロントガラス破損補償保険」は、自損事故、飛び石・台風による破損など偶然的事故によって破損し、修理によって損害が生じた場合に車種に応じて、フロントガラス保険金、ガラス工賃費用の保険金を補償するもので、



業界に特化した初の保険制度。補償の対象をフロントガラスに絞ったことで、通常の車両保険と比べて割安となっている。フロントガラス保険金額が5万〜11万円、ガラス工賃費用保険金額は2万〜3万5000円。年払い保険料は、軽自動車36000〜38300円、普通自動車は4500〜5140円、貨物自動車は7230〜7940円（車種によって保険料が異なる）。保険対象外の車両は、バス、建設機械車両、緊急自動車、除雪車両、外国産大型トラックなど。それ以外の車両は保険に加入できない。

JAGU加盟メリット

フロントガラス保険の加入者からガラス交換の依頼があれば、安価な輸

入ガラスではなく純正ガラスに交換できる。保険加入者を増やすことが、純正ガラス市場を増やすことになる。トラックの車両保険は高額なため加入率は非常に低く、フロントガラスの入れ替えのほとんどが安価な輸入ガラスだ。フロントガラス保険の拡大が、純正ガラス市場に回帰するきっかけとなるかもしれない。

ガラス交換作業は指定工場制度を導入し、作業品質の均一化を狙う。JAGU検定資格「フロントマスター認定者」もしくは「技術検定1級認定者」を持った人が車を実際に見て割れを確認して見積もりを作成し、指定工場としてフロントガラスの交換作業ができる。

「技術検定2級認定者」を保有していれば、見積もりはできないがフロントガラスの交換作業ができる。つまりJAGUの検定資格を持っていないば、保険を使って純正ガラスの交換作業を行える。JAGUに加入している有資格者は、組合加盟のメリットを享受することができ、未加入の同

白金触媒と光触

ゼンワールド 花粉症



「エアプロット」を説明する松井社長

業他社と差別化できる。有資格者が見積もりをし作業するということ。で、保険会社にとっては不正をなくせるという利点がある。

保険加入者からガラス交換依頼があれば、依頼者の指定場所に近い指定工場が担当することになるが、依頼者から指定工場の指名があれば、指名指定工場が最優先される。ブロードマインド少額短期保険が基本的には保険代理店の募集を行うが、保険加入者からの指名を得るために、指定工場が自ら保険代理店の募集も行う。

正ガラスの市場を構築するのが目標だ。JAGUの総合保償制度のほかに、JAGUの会員だけが入れる総合保償制度もある。基本契約である「自動車管理者賠償責任保険」に加入すれば、顧客の自動車をつっかり傷付けてしまい、損害賠償請求された場合に、補償してもらえる。対象となる事故は、「紛失」「盗取」「損壊」「詐取」。オプション契約の「自動車ガラス損害保険」に加入すれば、自社が保有している自動車ガラス（商品・在庫品）を作業中、保管中、輸送中のいずれの場合にも、偶然的事故で生じた損害を補償してもらえる。